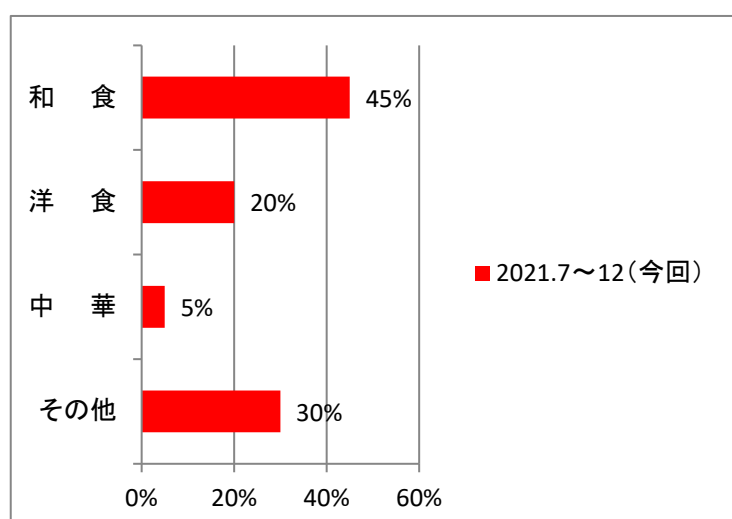


【 2022年1月実施 景況調査アンケート集計結果 】

◆◆ 飲食業 ◆◆

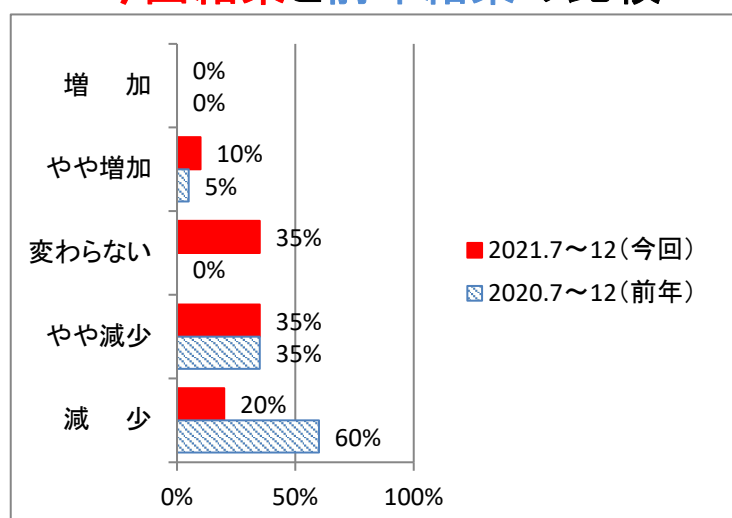
【 分類別 】



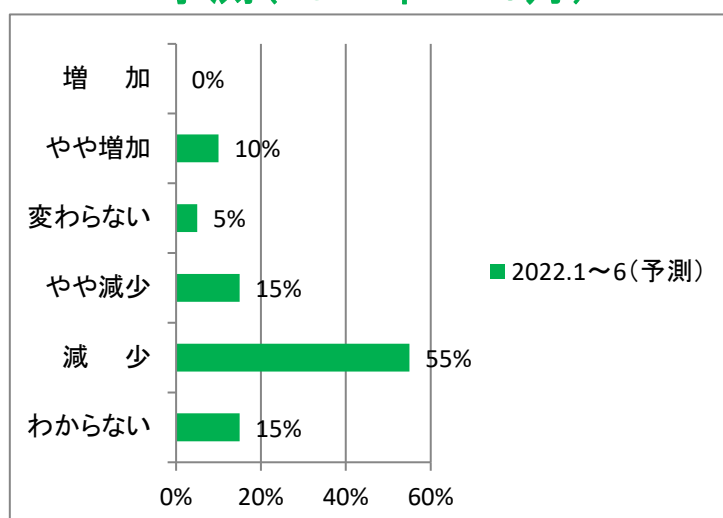
和食45%、洋食20%、中華5%、その他(喫茶店・スナック等)30%

【 売 上 】

今回結果と前年結果の比較



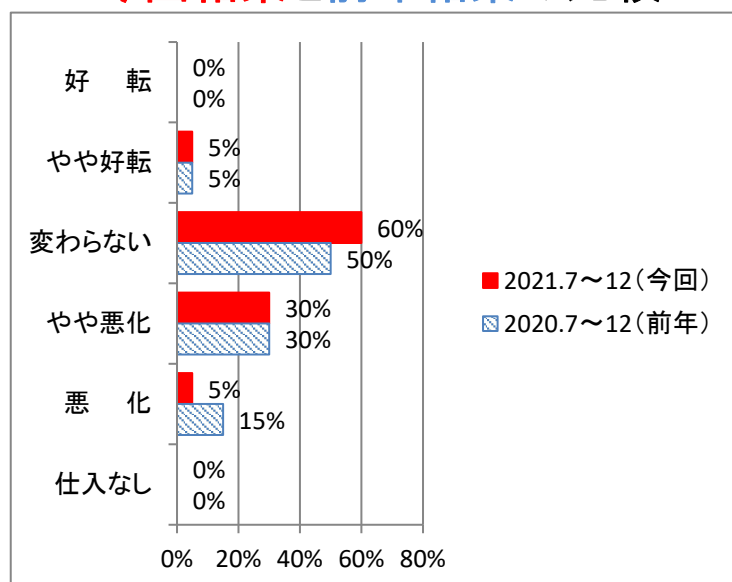
予測(2022年1～6月)



「減少」が20%まで減り、「変わらない」が35%となっている。「やや減少」「減少」で55%と、半数以上占めている。

【 仕 入 】

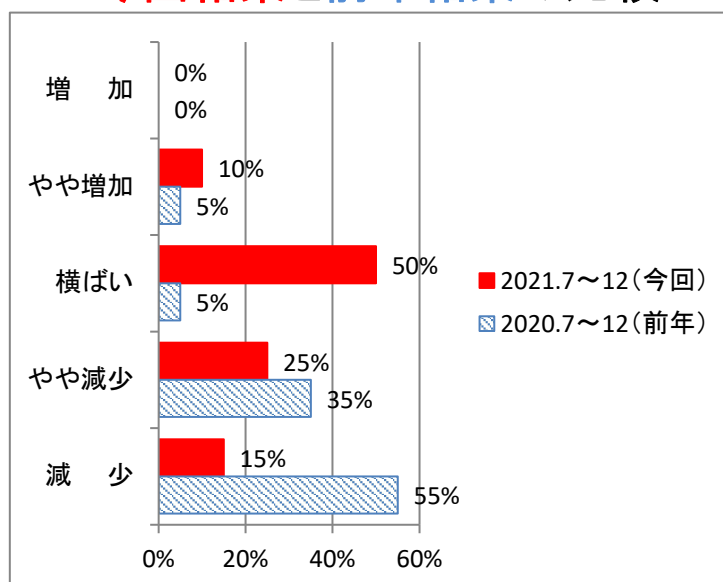
今回結果と前年結果の比較



「変わらない」が60%と一番多く回答しており、【仕入】については前年と大きな変化がなかった。

【 利 益 】

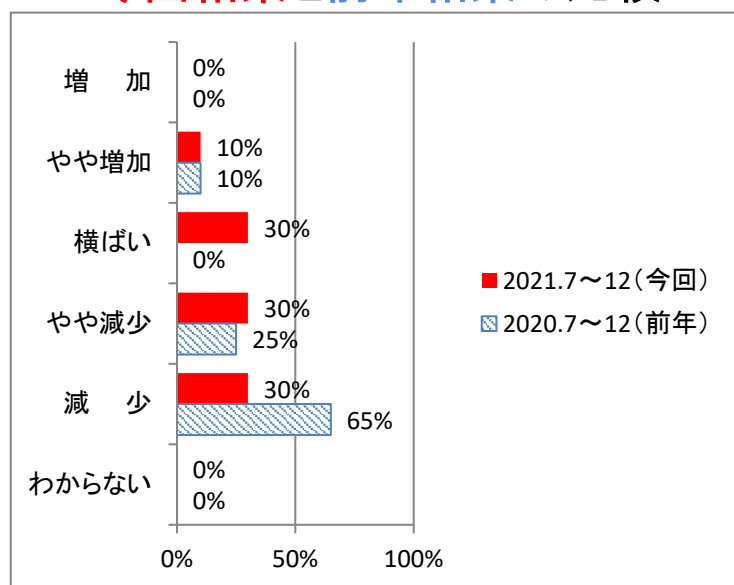
今回結果と前年結果の比較



「減少」が15%まで減ったが、「横ばい」が50%となっており、厳しい状況が続いている。

【客数】

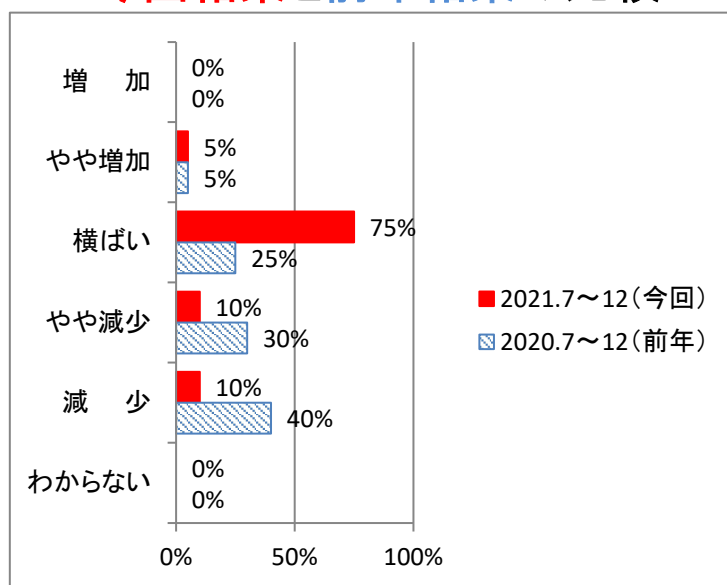
今回結果と前年結果の比較



「横ばい」が30%となっており、「やや減少」「減少」で60%と半数以上を占めている。

【客単価】

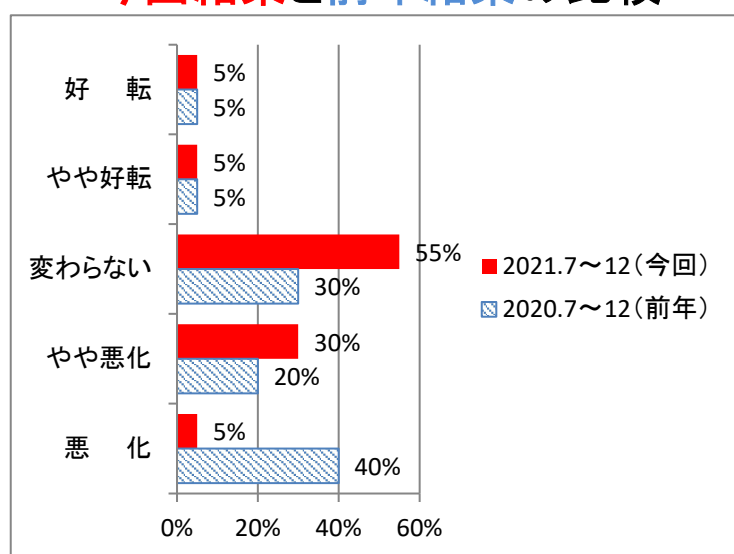
今回結果と前年結果の比較



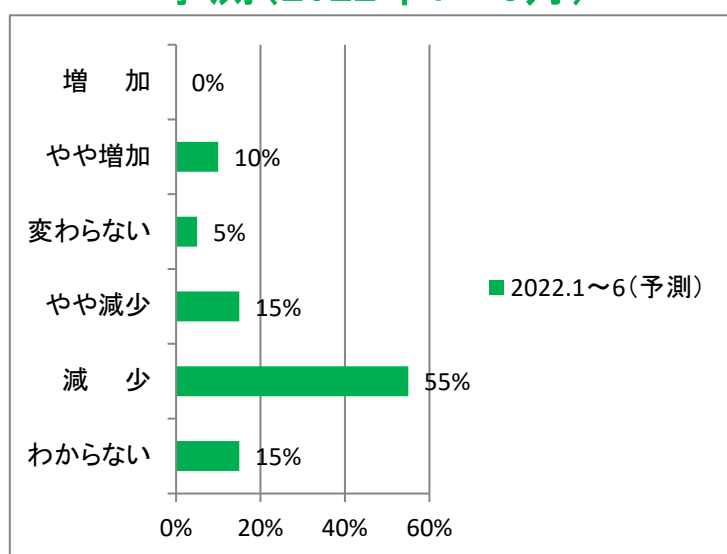
「やや減少」「減少」で20%となっており、「横ばい」が75%を占めている。

【資金繰り】

今回結果と前年結果の比較



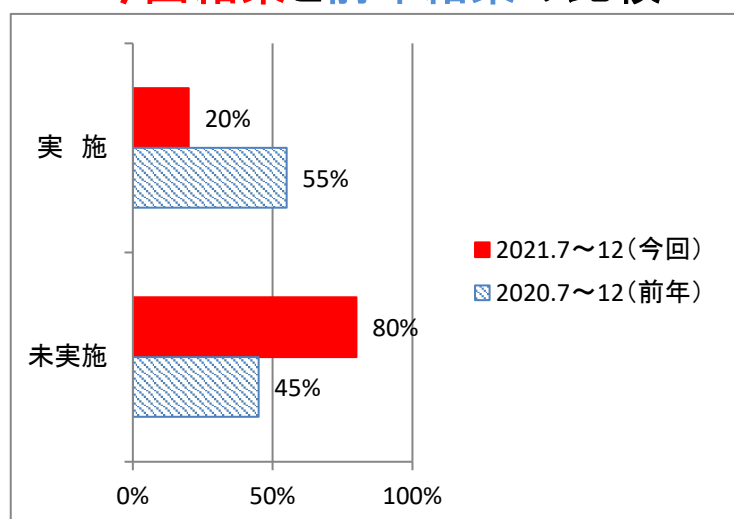
予測(2022年1~6月)



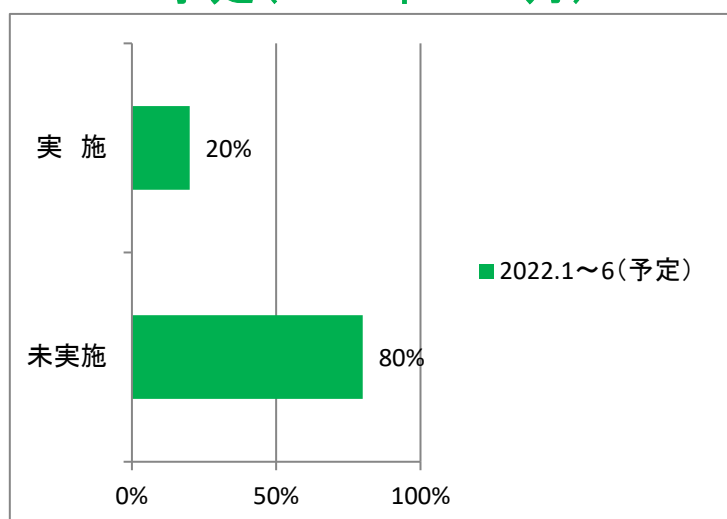
「変わらない」が55%と半数以上を占めており、「悪化」が5%に減ったが、「やや悪化」「悪化」で35%となっている。

【設備投資】

今回結果と前年結果の比較



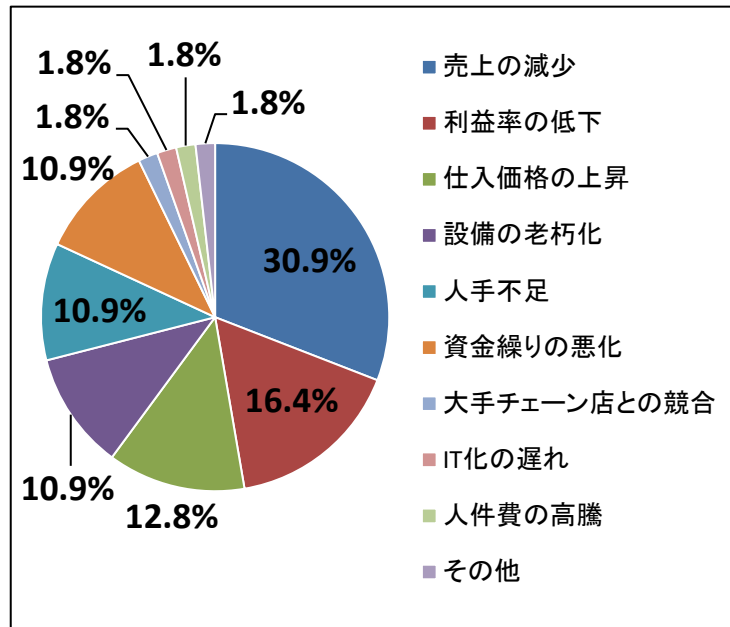
予定(2022年1~6月)



20%の事業所が設備投資を行っている。今後も20%の事業所が設備投資を予定している。

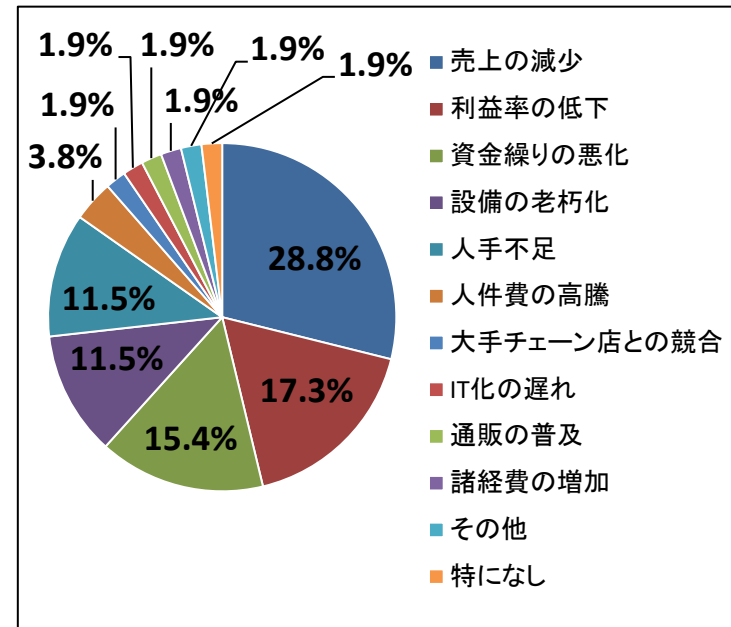
《 経営課題 》

今回(2021年7～12月)



売上の減少	利益率の低下	仕入価格の上昇	設備の老朽化
30.9%	16.4%	12.8%	10.9%
人手不足	資金繰りの悪化	大手チェーン店との競合	IT化の遅れ
10.9%	10.9%	1.8%	1.8%
人件費の高騰	その他		
1.8%	1.8%		

前年(2020年7～12月)



売上の減少	利益率の低下	資金繰りの悪化	設備の老朽化
28.8%	17.3%	15.4%	11.5%
人手不足	人件費の高騰	大手チェーン店との競合	IT化の遅れ
9.4%	5.7%	1.9%	1.9%
通販の普及	諸経費の増加	その他	特になし
1.9%	1.9%	1.9%	1.9%

経営課題で一番多く挙げられたのが「売上の減少」で30.9%、次に「利益率の低下」で16.4%、「仕入価格の上昇」で12.8%という結果であった。